



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第429号

2019年11月4日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

連続した台風で生活と生業は深刻

台風15号、19号、21号と連続して千葉県をはじめ、東日本の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。死者・行方不明となっている方は、100名を超え、強風や河川の決壊・氾濫などにより、数万戸規模で全壊・半壊、一部損壊などで避難所生活を余儀なくされている方も多数に上っています。

気象庁によれば、今後今回規模の台風が、毎年のように発生する可能性は確実に増えるとしています。その背景には、地球温暖化による気象変動があることも指摘されています。

どのようにして命を守るのか、今回の台風による災害は、様々な課題・問題を私たちに突き付けているのではないのでしょうか。



具体的に浮かび上がってきたもの

台風21号による大雨で、千葉県内では河川の氾濫、がけ崩れなどにより10名の方がなくなっています。そのうちの5名の方は、車での移動中に亡くなっています。

河川の氾濫などにより、車が流され、水没するなど命を落とさないために、車での移動を極力避けるとともに、ハザードマップでの確認はもとより、マップに示されていない場所で道路の冠水も発生していることから、ハザードマップの見直しを含め、市民への情報提供を的確に行うことも重要です。

千葉市誉田で発生したがけ崩れ場所は、土砂災害警戒区域に指定されていなかったと言われています。八千代市でも、土砂災害警戒区域の指定を急ぐべきです。

八千代市で現れた課題と解決のために

今回の台風で八千代市では、早くから避難所開設が進められました。しかし、避難所の運営をどうするのか、「避難所に行っても何も無い」との声も届いています。避難所の運営、責任体制の確立も急務と考えます。萱田小学校では、体育館の雨漏りのために、避難所の開設ができませんでした。

21号台風による大雨で、逆水・神野地区の平戸橋付近では、5世帯で床下浸水となりました。

八千代1号幹線はこの間、幹線沿いに、「調整池」が設置され、さらに、大和田南小学校のグラウンド下に新たに「調整池」が設置され、効果を発揮しています。

この八千代1号幹線の監視カメラが市のホームページにアップされていますが、「大変、ありがたかった」との声の一方、なかなか閲覧できないとの苦情もありました。市民がいつでも確実に閲覧できるよう、速やかな改善を求めて参ります。

道路冠水、マンホールからの水の噴き出しも市内のあちこちで発生しました。ゲリラ豪雨なども考慮し、「地下貯水槽」などの検討も必要なのではないのでしょうか。

日本共産党は、今後とも自然災害から市民の命と生活、生業を守るために全力で頑張ります。